

「地域課題分野」(平成24年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
東南海地震による津波を想定した大分県番匠川流域の地域住民との合意形成に基づく防災対策の提案（研究期間：H24年～H26年）	大分工業高等専門学校 東野 誠	B
<研究概要> 大分県佐伯市を対象に、南海トラフ地震による津波を想定して住民アンケート調査を実施し、住民の津波防災意識を調べるとともに、今後、発生が予測される地震・津波での避難の意思決定に及ぼす要因について、統計解析により検討した。また、津波災害と河川水害とを比較することで自助、共助、および公助が津波避難においてどのように機能するか考察するとともに、当該地域での津波防災力を高める一策として津波防災アダプト・プログラムを提案した。		
<事後評価コメント> アンケート調査とその分析により、津波災害の避難判断に影響している要因を抽出するとともに河川水害と津波災害との違いの比較検討がされ、当該地域の防災対策の基礎となることが期待できることから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。 しかしながら、避難判断に影響している要因のそれぞれが独立関係なのか従属関係なのか、また従属関係の場合はどのような関係性があるのかについて明確とすることが必要であったと考えられる。 今後は、上記に加え、地域の社会構造に相応しいコミュニティ構造の検討や他地域の調査及び分析の結果と比較するなど研究を進展させるとともに、地元自治体等とも連携しつつ、具体的なプログラム策定につながるとよい。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い